

# SDGs (エスディーゼズ) ってなに？

いま、世界には困った問題がたくさん！

## 気候変動

人間の行うことによって気候が変わり、自然災害が起こること。

## 自然環境の破壊

人間の行うことによって自然や資源が少なくなってしまうこと。

## 大量生産・大量消費

無駄を考えず、ものを安く売るためにたくさん作って売ること。

## 格差

お金がある国や人と、貧しい国や人の間でできることが平等でないこと。

## 差別

性別や宗教の違いなどにより、平等に扱われないこと。

## 飢餓

お腹いっぱい食べることが長い間できなくて、お腹がすいてつらいこと。

## 暴力

強い立場の人が力で脅して弱い立場の人を従わせること。

## 貧困

その人が必要とする暮らしができないくらい貧しいこと。



地球が抱える問題を世界の人々で協力して解決するため、

2015年に国連で採択された目標。それが「SDGs」です。

**S** サステイナブル  
ustainable . . . 持続可能な  
限りある資源を使いつくすことなく、未来にも残す。

**D** ディヴェロップメント  
evelopment . . . 開発  
世界をより良くするための取組を実行する。

**G** ゴールズ  
oalS . . . 目標

「だれひとり取り残さない」を合言葉に、すべての人にとってより良い社会にするための17の目標があります。

# 2030年までに問題を解決するための17の目標

- 

**1** 貧困をなくそう  
だれもお金の心配をせず、安心して暮らせる
- 

**2** 飢餓をゼロに  
だれもお腹をすかせることなく自分たちで食料を確保できる
- 

**3** すべての人に健康と福祉を  
あらゆる年齢のすべての人々が、心も体も健康に暮らせる
- 

**4** 質の高い教育をみんなに  
世界中の子どもたちが学ぶ機会が持てる
- 

**5** ジェンダー平等を実現しよう  
人を、男性女性で見のではなくひとりの人間として見る
- 

**6** 安全な水とトイレを世界中に  
世界中の誰もが、きれいな水とトイレを利用できる
- 

**7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
作り続けられるエネルギーを、すべての人が安定して使える
- 

**8** 働きがいも経済成長も  
やりがいのある仕事があり、社会も成長できる
- 

**9** 産業と技術革新の基盤をつくろう  
新しい方法を考え、仕事をつくり、すべての人の生活を良くする
- 

**10** 人や国の不平等をなくそう  
人と人、国と国との差別をなくし、同じ立場で関係をつくる
- 

**11** 住み続けられるまちづくりを  
災害に強く、いつまでも安心して住み続けられるまちをつくる
- 

**12** つくる責任 つかう責任  
限りある資源を子どもたちに残せるよう、使うことに責任を持つ
- 

**13** 気候変動に具体的な対策を  
地球温暖化を防ぐため、計画を立てて行動する
- 

**14** 海の豊かさを守ろう  
海と、海に住む生き物を守り、海の資源を大切に使う
- 

**15** 陸の豊かさも守ろう  
たくさんの生き物が生き続けられるよう、豊かな自然を育てる
- 

**16** 平和と公正をすべての人に  
すべての国や人の平和が法律で守られ、人間らしく生きられる社会
- 

**17** パートナリシップで目標を達成しよう  
国を越えて協力し合い、地球を守りながら進んで行く

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

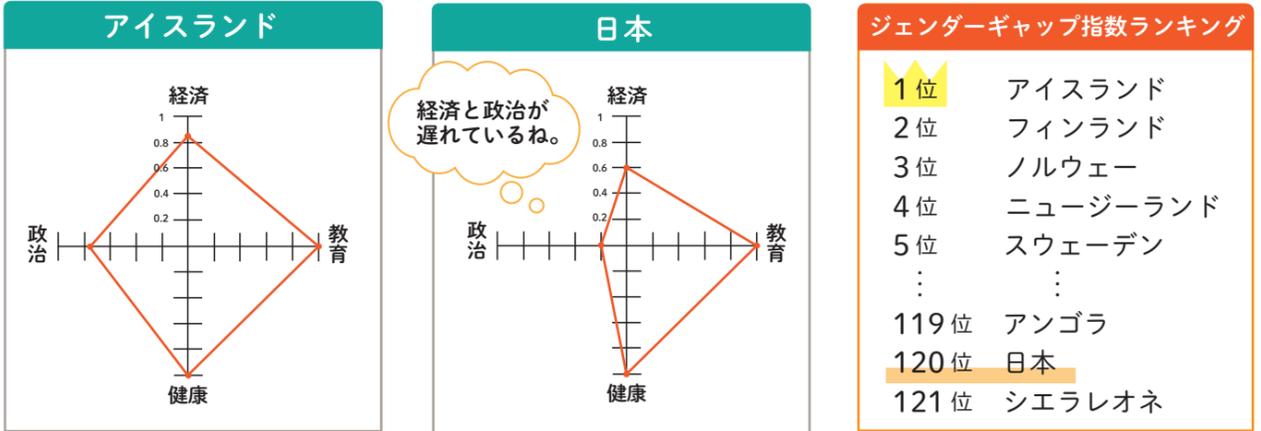
国際機関・政府・企業・学術機関・市民社会すべての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています。

# ジェンダーで見るSDGs

2021年に発表された日本のSDGs達成ランキングは165カ国中18位と上位ですが、ジェンダーの分野で評価は低く、ジェンダーギャップ指数<sup>※1</sup>は156カ国中120位と、かなり低い順位となっています。

ジェンダー平等の実現は、SDGs全体の目的でもあります。

※1 世界経済フォーラムが発表している各国における男女格差を測る指数。経済・教育・政治・健康の4分野のデータから作成され、男女格差が大きいほどその順位は低くなる。



## <ジェンダーってなに？>

男女の体のつくりの違いだけでなく、「男らしさ」「女らしさ」という、多くの人が無意識に持っているイメージのことです。

例えば、「男の子だからメソメソするな」「女の子だから勉強しなくていい」「男だから外で働き、女だから家で家事をする」など、だれもが気づかないうちに持っている思い込み（無意識の偏見）で、このような性別で固定化された役割や価値観によりジェンダーギャップは生まれます。また、LGBTQ+といった性的少数者が、無意識の偏見により差別されることもあります。無意識の思い込みや無意識の偏見は、アンコンシャス・バイアスとも表現されます。

性別を理由に生き方や働き方を決められることなく、すべての人の人権を尊重し、個性や能力を発揮できるようにすることがジェンダー平等の実現です。

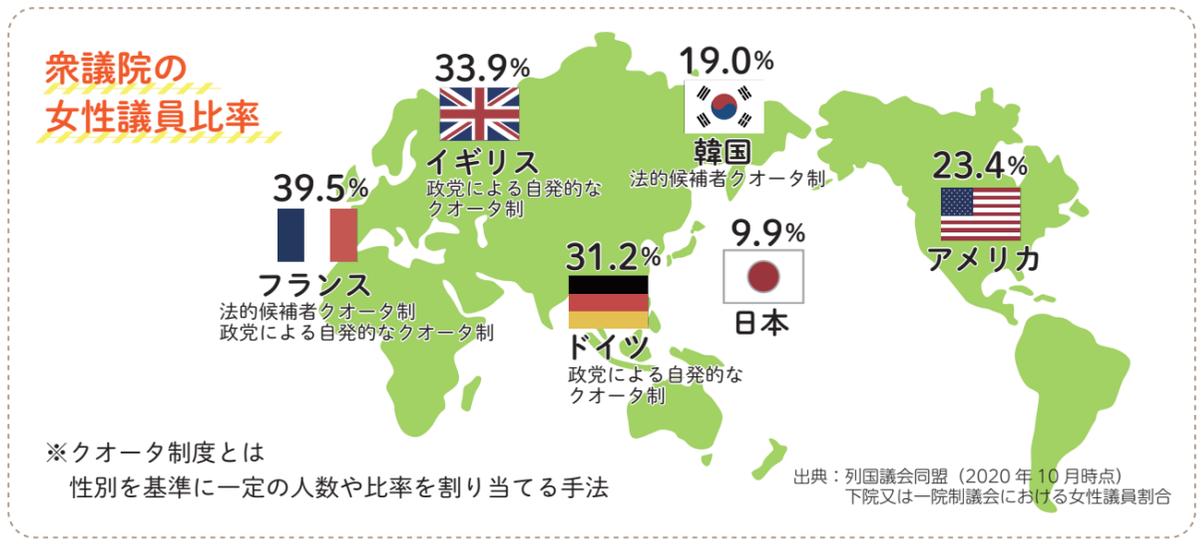
## LGBTQ+ (エルジービーティーキュープラス)

- 「LGBTQ+」とは、多様な性を表す言葉です。
- L レズビアン**：女性で女性が好きな人
  - G ゲイ**：男性で男性が好きな人
  - B バイセクシュアル**：好きになる性を選ばない人
  - T トランスジェンダー**：体と心の性に違和感がある(しっくりこない)人、体の性別と異なる性別で生きる(生きたい)人
  - Q クエスチョニング**：心の性や好きになる性がハッキリしない、どちらかに決められない、決めたくない人
  - +** プラス：これらの他にも様々な性があることを表す

参考図書「もっと知りたい! 話したい! セクシュアルマイノリティありのままのきみがいい①」 著: 日高庸晴 (宝塚大学看護学部教授) イラスト: サカイノビー 出版社: 汐文社

## 意思決定の場への女性の参画

日本のジェンダーギャップ指数の順位を下げた要因に、女性の大学進学率の低さ、女性管理職や国会議員・閣僚の女性率の低さなどがあります。これは意思決定の場への女性の参画が成されていないことを表しています。



## 男女の所得格差・女性の非正規雇用率

男性に比べ、女性の非正規雇用率は高く、賃金も安いなど、共働きでも男性の収入が家計の中心となっていることが多いため、「家事は女性の仕事」という考え方が根強く残っています。

**女性の賃金は男性の約半分!**  
女性労働者の約4割が年収200万円以下、5割超が非正規雇用

女性平均年収 296万円	男性平均年収 540万円
-----------------	-----------------

(2020年9月発表 国税庁民間給与実態統計調査)

## 世界の性別による教育格差

世界には、学校に通えていない子どもが3億300万人いるといわれています。(2018 ユニセフ)

少数民族や極度の貧困で働き手にならないといけない、紛争や自然災害、学校が遠すぎるなど理由はさまざまです。また、「女の子だから」という理由もあります。女の子に教育は必要ない、という考えが根強く残っている国や地域では、女の子は不平等な立場に置かれ、教育を受ける権利を奪われます。

読み書きができることで本来持っている権利を知り、様々な情報を手に入れて仕事に就くことが可能になります。基礎的教育や職業訓練は、差別や貧困を抜け出すための一番強力な武器なのです。

15歳以上で読み書きのできない人の数は7億5,000万人  
そのうち、3人に2人が女性

(2017 ユネスコ)



## 身近なジェンダーを考える

小野市主催の女性リーダー育成を目的とした「おのウィメンズ・チャレンジ塾」。令和2年度の修了生グループ「coco（ココ）」のメンバーで、身近なジェンダーについて考えてみました。

### 私たちの身近な「固定的性別役割分担意識」について

- ・男性は大黒柱として稼がないと結婚できないよ。
- ・男性がそんな仕事では食べていけないだろう。
- ・責任ある立場は男性が担うべきだよ。
- ・男のくせに頼りがいが無い。
- ・男性は家庭より仕事を優先するのが当たり前だよ。
- ・女性の方が子育てに向いているから、女性がするものだよ。
- ・女性だったら料理は得意だろう。惣菜を買ってすませるなんてないよね。
- ・女性は仕事より育児を優先するべきだ。
- ・介護は妻（嫁）がすればいい。
- ・制服は、女子はスカートで男子はスラックスが普通。
- ・家族を養うのは男である自分だ、だから安定して稼げる職業に就かないといけない。
- ・友人の子どもは女の子だからプレゼントは人形にしよう。きっと女の子は人形が好きだろう。
- ・私は女だから、家事も育児も、そして仕事もしっかりやらないといけない。
- ・リーダーは男性で、女性はサポート役だ。

今は共働き世帯のほうが多いよ。令和2年には、共働き世帯が7割。そうでない世帯は3割。  
(令和3年度男女共同参画白書)

来年4月の法律改正で、男性も育児休業が取得しやすくなるんだって。

家族で協力するほうがいいよね。

女性だけがすること？

性別で役割を決めつけたりすることも、無意識の思い込みや無意識の偏見により生まれていることかもしれません。

### ジェンダーについて学んだことにより、日常でどんな変化がありますか？



今まではモヤモヤすることがあっても、女性だから言わない方がいいと思っていた。けれど、黙っていると黙認することになるので、少しずつでも声に出して自分を表現することが大事だと思うようになった。

小野市では、女性議員の割合が多かったり、自治会の女性役員登用制度\*が実施されていたり、女性の活躍を推進する仕組みづくりが進んでいるということを知った。私にも活躍できる場があるのかなと感じた。

※平成25年～27年度に実施



情報誌に関わる中で、夫に意見を聞いたり、子どもたちと喋ったり、ジェンダーについて話す時間ができて、家族で考える機会になった。

LGBTQ+ について話している時に、ゲイの友だちが「生まれたくて今の自分で生まれてきたわけじゃない」と話をしてくれた。自分の身近にはいないと思っていたし、今まで知らなかったけど、生きづらさを感じている人が身近にいるということに気づいた。



知らないことで、自分の何気ない一言が人を傷つけることがあるから、普段から意識しておこうと思った。



誰にでもある無意識の思い込みや無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）は、人に対してだけでなく、自分自身に対しても決めつけや押しつけにより、生きづらさを生むことがあります。

まずは、自分のアンコンシャス・バイアスに気づくことが大切なのではないでしょうか。

「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」

(令和3年度男女共同参画週間キャッチフレーズ)